

2025 年 2 月 1 日 降誕節第 6 主日 礼拝次第

主日礼拝

前 奏 (黙 想)

招きの言葉 箴言2章 7～8 節 (旧約 992 ㊦)

讃 美 歌 53 (神のみ言葉は)

主の祈り <A> (讃美歌93-5)

詩 編 交 読 詩126編1～6 節 (交読詩編 147 ㊦)

聖 書 マルコによる福音書4章1～9 節 (新約 66 ㊦)

祈 禱

讃 美 歌 195 (まかれた種)

説 教 「蒔いている間に」田中雅弘牧師

讃 美 歌 412 (昔、主イエスの)

信 仰 告 白 使徒信条<A> (讃美歌93-4)

献 金

讃 美 歌 88 (こころに愛を)

派 遣 祝 福

後 奏 (黙 想)

報 告

※讃美歌は原則として全節を歌います。

聖 書 マルコによる福音書4章1～9 節

「種を蒔く人」のたとえ

1 イエスは、再び湖のほとりで教え始められた。おびただしい群衆が、そばに集まって来た。そこで、イエスは舟に乗って腰を下ろし、湖の上におられたが、群衆は皆、湖畔にいた。2 イエスはたとえていろいろと教えられ、その中で次のように言われた。3「よく聞きなさい。種を蒔く人が種蒔きに出て行った。4 蒔いている間に、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。5 ほかの種は、石だらけで土の少ない所に落ち、そこは土が浅いのですぐ芽を出した。6 しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。7 ほかの種は茨の中に落ちた。すると茨が伸びて覆いふさいだので、実を結ばなかった。8 また、ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び、あるものは三十倍、あるものは六十倍、あるものは百倍にもなった。」9 そして、「聞く耳のある者は聞きなさい」と言われた。

主の祈り A (讃美歌21 93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。

み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。

国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。 アーメン。

讃美歌53番

- 1 神のみ言葉は この世界に  
蒔かれて芽生える 種のように。
- 2 悪魔にみ言葉 奪われぬよう  
心に根づかせ、育ててゆけ。
- 3 試練の茨の 阻むときも  
負けずに育てよ、実る日まで。
- 4 み言葉は育ち、地に広がり、  
平和とよろこび 満ちあふれる。

讃美歌195番

- 1 まかれた種 静かに落ち、  
芽を吹き葉を出し、みのりを結ぶよ。  
種が育つ 良い大地よ。
- 2 生命の種、主のみ言葉、  
心に受け入れ、豊かに育てよう。  
主よ、わたしを良い大地に。
- 3 石を除き 草を抜いて、  
心を耕し、み言葉を受けよう。  
われらは主の 良い大地よ。

讃美歌412番

- 1 昔主イエスの 蒔きたまいし、  
いとも小さき いのちの種。  
芽生え育ちて 地の果てまで、  
その枝を張る 樹とはなりぬ。
- 2 歴史のながれ 旧きものを、  
帰らぬ過去へ 押しやる間に、  
主イエスの建てし 愛の国は、  
民より民へ ひろがりゆく。
- 3 時代の風は 吹きたけりて、  
思想の波は 騒ぎたてど、  
すべてのものを 越えてすすむ  
主イエスの国は 永久に栄えん。
- 4 父なる神よ、み名によりて  
世界の民を ひとつとなし、  
地の果てまでも み国とする  
約束を、いま果たしたまえ。

讃美歌88番

心に愛を 豊かにみまし  
日ごとのわざに つかわしたまえ

